

(広報資料)

平成 16 年 1 月 30 日
文化市民局
(市民生活部地域振興課 222-3049)
産業観光局
(商工部商業振興課 222-3340)
都市計画局
(都市企画部都市づくり推進課 222-3503)
(都市企画部交通政策課 222-3483)
交通局
(自動車部営業課 822-9143)

～一緒に考えましょ 京の交通～

四条通等における路線バスの走行環境改善に向けた取組について

市バスをはじめとする路線バスの運行においては、交通渋滞、違法駐停車や荷捌き車両などのため走行環境が悪化しており、ダイヤどおりの運行が確保されていない状況があることから、この度、都心部の主要道路において、違法駐停車車両への啓発活動などを下記のとおり行いますので、お知らせします。

記

1 経過

京都市では、これまでから市バスの定時性を確保するため、市内主要道路におけるバス専用レーンの設置(昭和49年12月から市内総延長91.2km)や、違法駐車等防止重点区域における違法駐車等防止指導員による啓発活動、府警との連携による違法駐停車車両への啓発活動を行っていますが、依然として、都心部においては、バスの定時走行に支障を来していることから、この度、四条通における違法駐停車車両への啓発及び路線バスの走行環境改善に向けた広報活動を行います。

なお、今回、国の「全国都市再生モデル調査」において採択された四条通(烏丸通～四条大橋西詰)における交通社会実験やシンポジウムを行う四条繁栄会商店街振興組合の「風格と華やぎのまちづくりビジョン策定調査」と連携して取組を進めます。

2 取組内容

(1) 違法駐停車車両への啓発活動

啓発内容 バス停付近に駐停車しようとした車両へスペース確保のための呼びかけなど

日時、場所 ・平成16年2月13日(金), 14日(土)午後5時から午後7時まで
四条通(烏丸通~四条大橋西詰), 河原町通(三条通~四条通)

・平成16年2月15日(日)正午から午後6時まで
四条通(烏丸通~四条大橋西詰)

四条繁栄会商店街では、「風格と華やぎのまちづくりビジョン策定調査」(別紙参照)を実施しており,その取組として,この時間帯の荷捌きの自粛を関係団体に呼びかけており,それにより啓発実施時と未実施時のバス走行時間の違いを調査するなど,四条通の渋滞緩和とバス走行円滑化,歩行者の安全な通行に向けた交通社会実験を実施します。

参加団体 四条繁栄会商店街,京都市など

(2) 路線バスの走行環境改善に向けた広報活動

ア 市バス・地下鉄車内吊りポスター作成(B3版フルカラー)

市バス:平成16年2月1日(日)から1箇月間,全車両で掲載(計750部)

地下鉄:平成16年2月1日(日)から1箇月間

烏丸線,東西線の全車両に掲載(計324部)

イ 四条繁栄会と京都市とが共同作成した啓発チラシ及び物品の配布

平成16年2月10日(火)からバス走行環境等の改善を訴える啓発チラシを四条繁栄会商店街の各商店に設置するとともに,2月15日(日)に四条通(烏丸通~四条大橋西詰)で実施する啓発活動において配布する。

3 問合せ先

都市計画局都市企画部都市づくり推進課	(電話)075-222-3503
都市計画局都市企画部交通政策課	(電話)075-222-3483

(参考)

全国都市再生モデル調査

都市再生を推進するうえで特に創意工夫が必要なまちづくりに関わる構想の具体化の取組や,シミュレーション,実地検証等の調査活動に対し,「全国都市再生モデル調査」として,国(内閣官房 都市再生本部事務局)が支援するものである。

2004.1.30

「風格と華やぎのまちづくりビジョン策定調査」

四条繁栄会商店街振興組合 理事長 高橋 亮太郎

1 地域の現状と課題

四条繁栄会は、日本三大祭の一つ祇園祭の舞台として、また百貨店・老舗・ブランド店・金融機関を中心に2百を超える組合員を有する京都市内最大の商店街として、「風格と華やぎのあるまちづくり」を推進している。今春には地区計画原案を京都市に要望するなど系統的な活動を展開。

京都のメインストリートである四条通において、わずか半年間で地元主導の地区計画を策定するなど、まちづくりへの問題意識と意欲は最高潮。

当該地区における目下の課題は以下の3点。

- 風格を感じさせる統一感と連続的な街並みづくり
- 安心してゆったりと楽しめる街路空間づくり
- 世界一級品と京都ブランド主体の商店集積の戦略づくり

2 当該調査の目的と目指すべき効果

「風格と華やぎのあるまちづくり」を推進するための戦略構築を目的に以下の3点に取り組む。

- 風格ある四条通に相応しい「景観」のあり方研究
- 四条通に華やぎをもたらす、歩行者が安全に通行できる「交通環境」のあり方に係る実態調査 & 社会実験
- 上記を踏まえた「まちづくりビジョン」の作成

3 取組概要

(1) 有識者を交えた勉強会（風格と華やぎのまちづくりを考える会）

1) 目的

有識者を招いて勉強会を開催し街並み再生の知見を得ること。

全体戦略・景観形成・交通政策等の課題に係る戦略議論を行うこと。

来年度以降の継続的な取組に向け、学習基礎文献を作成すること。

2) 時期&内容

実施日		テ - マ	講 師
第1回	10/29	都心商業活性化戦略の考え方	京都府立大学 宗田好史助教授
第2回	11/25	都心の持続的発展を担保する交通コントロールの考え方	京都大学 中川大助教授
第3回	12/11	風格と華やぎ舞台にふさわしい都市景観の考え方	関西学院大学 加藤晃規教授
第4回以降		未定	

(2) 情報発信

1) 目的

美しい四条大路のあり方を考えるシンポジウムを開催し、今後のまちづくりの端緒とする。

2) 時期&内容

【シンポジウム】

日時	場所	内容
2月29日(日) 午後1時~3時	池坊学園 「こころホ-ル」 (定員 200名)	基調講演 エミ-リオ・ベケッリ氏 (フィレンツェ大学経済学部長・フィレンツェ市観光局長) パネルディスカッション 鳴海邦碩 大阪大学教授(コ-ディネ-タ-) 宗田好史 京都府立大学助教授 中川 大 京都大学助教授 高橋亮太郎 四条繁栄会商店街振興組合理事長

(3) 交通実態調査

1) 目的

将来の「交通環境改善策」検討の基礎データとして、駐停車車両、来街者（歩行者・自動車）並びに駐輪の実態調査に取り組む。

2) 時期&内容

実施日	項目	内容
1/16(金)	駐停車車両実態調査	四条通における全ての駐停車車両の実態を把握。
1/30(金) 2/1(日)	駐輪状況調査	四条通における歩道上の不法駐輪の実態を把握。
2/29(日)	来街者アンケート調査	街頭でのアンケート調査実施により、来街者実態や今後の交通環境・街並み等に係る意向を把握。
	自動車利用者アンケート調査	自家用車を利用する来街者を対象にした走行経路・頻度・意向などの調査。

(4) 交通社会実験

1) 目的

京都市・京都府警察の協力を得て、四条通(烏丸通～四条大橋西詰)における車両(バス等)走行を円滑化するための環境改善(タクシーの指定場所以外の不法駐車の問題の解決・荷捌きの自粛等)に向けて取り組む。

2) 時期&内容

実施日時	項目	内容
2月	事前キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員向けの説明 ・寺町・新京極等周辺商店街への協力要請 ・タクシー・事業者や物流事業者への理解と協力を求める取組 ・市民の皆さんをはじめとした来街者への周知と機運盛上げ
2/15(日) 正午～午後 6時	荷捌きの自粛	四条繁栄会加盟各店、関係各社の協力により、正午～午後6時の時間帯の荷捌きを自粛する取組を実施。
	違法駐車防止	京都市・京都市交通局・京都府警察の協力により、地元商業者・行政・警察の一体的な取組として実施。
	バス走行環境改善度把握	当該社会実験による成果(走行時間の短縮など)のとりまとめ。

(5) 調査レポートのとりまとめ

1) 目的

四条通沿道における「風格と華やぎのあるまちづくり」を推進するための長期ビジョンをとりまとめる。

2) 内容

「有識者を交えた勉強会」、「イベント(シンポジウム等)」、「交通実態調査」、「交通社会実験」などの成果整理と、これらを踏まえた長期ビジョンのとりまとめ。

レポートによる発表

(以上)

四条通 考えろ

風格と華やぎのまちづくり



主催／四条繁栄会商店街振興組合

2/15

四条通に風格と華やぎを
もたらすための
「交通社会実験」を行います

2/29

四条通にふさわしい
風格と華やぎについて、
「シンポジウム」を行います

「風格」と「華やぎ」の メインストリートを 目指して

主催/四條繁栄会商店街振興組合
【お問合せ】
京都下京区四條通御所西入ル
メロウ洋菓子工房 TEL: 075-221-2403
E-mail: office@kyoto-imp.or.jp



いさこがり

四條繁栄会では、日本三大祭りの一つ「お祭り」のメインストリートとして、伝統と華やぎのあふれる街づくりを目指しています。私たちは、京都の中心商業地として、いさこがりを目指しています。

- ◆ 風格を追求して、伝統的な街並みを残す。
- ◆ 華やぎを追求して、賑やかな街並みを残す。
- ◆ 交通の便を追求して、アクセスを良くする。
- ◆ 安全を追求して、安心して歩ける街並みを残す。
- ◆ 環境を追求して、快適な街並みを残す。

交通社会実験 / 2004年2月15日(日)

四條通の交通緩和とバス運行円滑化、歩行者の安全な通行に向けて、京都府警察・京都市の協力によって以下の取り組みを行います。

- ◆ **正午～午後6時**
- ◆ **四條通(四條向丸～四條大橋)**
- ① **荷さばきのご迷惑を呼びかけます**
四條繁栄会加盟店、関係各社の協力により、正午～午後6時の時間帯の荷さばきは、ご遠慮いただきます。
- ② **四條通は駐車禁止です**
午前7時～3時は駐車も禁止です
「ちょっとだけ」と言わず、迷惑な駐車もご遠慮願います。
- ③ **歩道の歩行環境改善に向けた取り組みを行います**
上記の取り組みによって四條通の歩道がどの程度改善されるかを測定します。

【調査項目】
①歩行者の歩行環境
②自転車の通行状況
③自動車の通行状況
④交通量の推移

- ①～③と合わせて、四條通の交通環境改善に向けた、A)～D)の「実証調査」を行います。
- A) 歩行者アンケート調査**
四條通を通行中の方に、歩行目的や交通手段などについてお聞きします。
- B) 自転車利用者アンケート調査**
四條通周辺の主要な駐車場にお車で到着した際にも、A)と同様にお聞きします。
- C) 自転車実態調査**
四條通の自転車乗車方向の数値などについて、実証調査を行います。
- D) 自転車実態調査**
四條通の歩道に歩められている自転車などの数値について、調査を行います。

シンポジウム / 2004年2月29日(日)

- ◆ **午後1時～午後3時(期間午後1時30分)**
- ◆ **辻坊学園「こころホール」(四條大町)**

基調講演

◆ **エモーリオ・ベケリ** (フロンティア国際大学・フロンティア大学経済学部長)
イタリアの歴史的観光都市として日本でも話題の多いフィレンツェと表において、都市部の観光産業戦略を立案・実践している立派な、新しい市民の視線の下、観光部の新たな姿向にあわせ、街の歴史と都市の心臓部を導き、歴史都市の楽しさを演出した都市マーケティングの専門家。

パネルディスカッション

- ◆ **鳴海 邦雄** (大阪大学教授)
都市の空間文化をテーマに研究に取り組み、世界各地でフィールドワークを展開。著書に「都市の自然空間―遊歩の風景から」など。
- ◆ **中川 大** (京都大学助教授)
京都を中心に都市の交通空間に関する研究、交通空間から見た観光振興などを展開。共著に「都市の交通を考える」など。
- ◆ **菅田 裕史** (京都府立大学助教授)
歴史的環境を活かした町並み再生に取り組み、観光の商業計画の研究を通じて、京都で歴史的な活動地展開。著書に「賑わいを享受するイタリアのまちづくり」など。
- ◆ **高橋義太郎** (四條繁栄会商店街振興組合理事長)
創業百年の老舗呉服店のや主人であり、組合員200名を超える京都繁栄会理事長。

後援/国土交通省近畿地方整備局・京都府警察・京都府・京都府交通局・京都府工業振興局・京都府観光協会・京都府商店街振興組合連合会・京都府建設局・KJCS京都・日本都市計画学会関西支部・日本観光研究学会関西支部